2025年3月21日作成

SCPJ著作権ポリシー提供ガイドライン
ver. 1.0

学協会の方へ 2
ポリシー項目一覧 3
【学会情報の登録・修正】 4
■ 学会ID　Society_ID 4
■ 学会・団体名（〇〇学会等）　Society_Name 4
■ 学会・団体英語名　Society_Name_En 4
■ 学会URL　Society_URL 4
■ 学会お問合せ先URL　Society_Contact_URL 4
■ 学会名鑑URL　Meikan_URL 4
【ジャーナル情報の登録・修正】 5
■ 学会ID　Society_ID 5
■ 学会・団体名（〇〇学会等）　Society_Name 5
■ ジャーナルID　Journal_ID 5
■ ジャーナル名　Society_Name 5
■ ジャーナル別名　Journal_Title_Alias 5
■ ジャーナル英語名　Journal_Title_En 5
■ ISSN-L　ISSN-L（選択必須） 5
■ PISSN　ISSN(print)（選択必須） 5
■ EISSN　ISSN(electronic)（選択必須） 6
■ DOAJ　DOAJ 6
■ OAタイプ　OAType 6
■ OAタイプ備考　OAType_Notes 7
■ ポリシーURL　Policy_URL 7
■ 著作権者　CopyrightOwner 7
■ ライセンス情報　Licence 8
■ 掲載可否　Archivability 8
■ 掲載場所　Location_*** 8
■ エンバーゴ　Embargo_*** 8
■ 掲載条件　Terms_*** 9
■ SCPJデータの適用可否　Applicability 9
用語集 10

学協会の方へ

国内外の研究機関では、機関リポジトリと呼ばれる、その機関の学術成果を電子的に保存し公開するシステムの構築が進み、国内においても2023年3月時点で約800の機関で構築されています。しかしながら、研究機関の主要な学術成果である学術論文は刊行時に学協会様に著作権が譲渡されることが多く、機関リポジトリに学術論文を登録する際には、その都度、学協会様に著作権の登録の可否をお伺いすることになります。このような状況は、その都度、照会を受ける学協会様にご面倒をお掛けすることになるため、各学協会様のオープンアクセスに関する方針（機関リポジトリへの会誌掲載論文登録に関する方針等）を事前に意思表示していただき、それを大学間で共有するという活動を行ってまいりました。そのために整備されたのが、「学協会著作権ポリシーデータベース」（SCPJ : Society Copyright Policies in Japan）です。

2007年3月に正式公開されたSCPJは、運用主体の変更を経ながら本日まで引き継がれ、現在はJPCOARによって管理されております。その間に、オープンアクセスを取り巻く情勢も大きく移り変わり、昨今では政策レベルでもオープンアクセス・オープンサイエンスの推進が議論されるようになりました。

2023年5月開催のG7仙台科学技術大臣会合で採択された「G7科学大臣コミュニケ」（共同声明）では、「科学研究の自由と包摂性の尊重とオープン・サイエンスの推進」が掲げられ、G7がFAIR原則に沿って、研究データや学術出版物を含む科学的知識や公的に支援された研究成果を公平に共有し、オープン・サイエンスの拡大のために協力することが謳われています。これを受け、日本でも公的資金を受けた学術論文等の即時オープンアクセス（OA）の実現に向けた方針が策定され、2025年度から新たに公募する競争的研究費の受給者に対し、成果論文の即時OA化が義務付けられることになりました。

競争的研究費由来の研究成果物は少なくありません。然るべきライセンスを表示し、機関リポジトリ等での掲載を許諾していない非オープンアクセス誌には、論文を投稿しにくくなる懸念もあります。また、機関リポジトリへの登録増加に伴い、これまで大学図書館等が担当していた登録手続きを研究者自身で行うようなフローも検討され始めています。予め著作権ポリシーを明示していない場合、図書館だけではなく各研究者からも問い合わせが寄せられ、対応の負担が増加する恐れがあります。

こうした動きを踏まえ、SCPJでは、海外の類似データベース等も参考にし、ポリシー項目の見直しといった機能強化を進めました。あわせて、各学協会様でのポリシー設定の一助となるよう、ポリシー項目の解説とポリシー設定の考え方を本ガイドラインにまとめました。

機関リポジトリ等への掲載許諾が会誌収入の減少につながるとのご懸念もあるかと思いますが、学会誌のオープンアクセスが進むことで、研究成果、研究者、学協会それぞれのプレゼンス向上が期待できます。世界的に学術情報流通がオープンアクセスへ動く中、国内学協会が発信する研究成果が広く認知・評価されるためにも、趣旨をご理解の上、是非貴団体のOA方針をご検討いただけますと幸いです。

ポリシー項目一覧

【学会情報の登録・修正】

■ 学会ID　Society_ID

SCPJで各学会に付与される番号（S+6桁の数値）です。新規登録の場合は記入不要で、登録完了後にSCPJデータベースにて付与番号を確認いただけます。ジャーナル情報の登録・修正時に必要な情報となります。

■ 学会・団体名（〇〇学会等）　Society_Name

■ 学会・団体英語名　Society_Name_En

学会IDが日本語で、英語タイトルが別にある場合はできるだけご記入ください。

■ 学会URL　Society_URL

■ 学会お問合せ先URL　Society_Contact_URL

■ 学会名鑑URL　Meikan_URL

日本学術会議が運営する「学会名鑑」(https://www.scj.go.jp/ja/gakkai/index.html)に掲載されている場合に記入してください。

【ジャーナル情報の登録・修正】

■ 学会ID　Society_ID

学会IDが未登録の場合は、先に[学会情報の登録・申請]フォームから登録してください。

■ 学会・団体名（〇〇学会等）　Society_Name

■ ジャーナルID　Journal_ID

SCPJで各ジャーナルに付与される番号（J+6桁の数値）です。新規登録の場合は記入不要で、登録完了後にSCPJデータベースにて付与番号を確認いただけます。

■ ジャーナル名　Society_Name

■ ジャーナル別名　Journal_Title_Alias

サブタイトルや英語以外の別名がある場合に記入してください。

■ ジャーナル英語名　Journal_Title_En

ジャーナル名が日本語で、英語タイトルが別にある場合はできるだけ記入してください。

■ ISSN-L　ISSN-L（選択必須）

※（選択必須）ISSN-L / ISSN(print) / ISSN(electronic)のうち1つ以上は記入必須。
ISSN-L(Linking ISSN)は、媒体によって異なる国際標準逐次刊行物番号（ISSN：International Standard Serial Number）が付与されている逐次刊行物について、それらのリンキングを可能にするものです。同一内容の逐次刊行物がもつISSNのうち、いずれか一つと同じ番号になります。

■ PISSN　ISSN(print)（選択必須）

※（選択必須）ISSN-L / ISSN(print) / ISSN(electronic)のうち1つ以上は記入必須。
ISSN(print)は、冊子版の国際標準逐次刊行物番号（ISSN：International Standard SerialNumber）です。

■ EISSN　ISSN(electronic)（選択必須）

※（選択必須）ISSN-L / ISSN(print) / ISSN(electronic)のうち1つ以上は記入必須。

ISSN(electronic)は、電子版の国際標準逐次刊行物番号（ISSN：International StandardSerial Number）です。

■ DOAJ　DOAJ

オープンアクセス学術誌要覧（Directory of Open Access Journals, DOAJ）への収録有無をご回答ください。収録されている場合は、「DOAJ」を選択してください。
※DOAJ公式サイト：https://doaj.org
※DOAJ 出版者向け情報（JST翻訳資料）：
https://www.jstage.jst.go.jp/static/fi les/ja/pub_informationForPublishers.pdf

■ OAタイプ　OAType

ジャーナルのOAタイプをご回答ください。
ここでオープンアクセスとして扱うのは、ブダペスト・オープンアクセス・イニシアティブ（Budapest Open Access Initiative）による次の定義に該当するものです。

—
By “open access” to this literature, we mean its free availability on the public internet, permitting any users to read, download, copy, distribute, print, search, or link to the full texts of these articles, crawl them for indexing, pass them as data to software, or use them for any other lawful purpose, without financial, legal, or technical barriers other than those inseparable from gaining access to the internet itself. The only constraint on reproduction and distribution, and the only role for copyright in this domain, should be to give authors control over the integrity of their work and the right to be properly acknowledged and cited.

Budapest Open Access Initiative (BOAI) 2002
http://www.budapestopenaccessinitiative.org/read

[ピアレビューされた研究文献]への「オープンアクセス」とは、それらの文献が、公衆に開かれたインターネット上において無料で利用可能であり、閲覧、ダウンロード、コピー、配布、印刷、検索、論文フルテキストへのリンク、インデクシングのためのクローリング、ソフトウェアへデータとして取り込み、その他合法的目的のための利用が、インターネット自体へのアクセスと不可分の障壁以外の、財政的、法的また技術的障壁なしに、誰にでも許可されることを意味する。複製と配布に対する唯一の制約、すなわち著作権が持つ唯一の役割は、著者に対して、その著作の同一性保持に対するコントロールと、寄与の事実への承認と引用とが正当になされる権利とを与えることであるべきである。

（邦訳）「ブダペスト・オープンアクセス・イニシアティヴから10年：デフォルト値を「オープン」に」
https://www.budapestopenaccessinitiative.org/boai10/japanese-translation/
—

再利用についてライセンスが不明または出版からOA状態になるまでにエンバーゴが設定されているような場合は、「購読モデル」ないし「その他」となります。
なお、ハイブリッドモデルの場合、以降のポリシー情報は非OA論文に関するものとしてください。

＜各OAモデル解説＞
「フルOAモデル」
　すべての論文を出版側でオープンアクセスにしているモデルです。

「ハイブリッドモデル」
　APCが支払われた一部の論文のみオープンアクセスとなっているモデルです。

「購読モデル」
　購読料や学会費を原資に運営され、論文が一般に公開されない出版モデルです。紙媒体のジャーナルは、すべてこのモデルに該当します。
　商業誌や紙媒体の場合、機関リポジトリ等でフルテキストが公開されない限りオープンアクセスとならないことが多いですが、オンラインの学会誌は一定期間経過後にオープンアクセスになるものもあります。

「その他」
　上記以外のモデルを指します。OAタイプ備考に説明を記入してください。

■ OAタイプ備考　OAType_Notes

　OAタイプで「その他」を選択された場合は、詳細をこちらにご記入ください。また、出版時期によってOAタイプが異なる場合等も記入願います。

■ ポリシーURL　Policy_URL

　当該ジャーナルに適用する著作権・OAポリシーを掲載したページをご記入ください。

［各版のポリシー情報］
□ 出版社版　Published_***
□ 著者最終稿　Accepted_***
□ プレプリント　Submitted_***
※ハイブリッドジャーナルの場合は、APCを課さない論文に対する条件についてご回答ください。

■ 著作権者　CopyrightOwner

　著作権帰属先が「著者」か「学会/出版社」かご回答ください。

■ ライセンス情報　Licence

ライセンス情報（CC BY等）が設定されている場合はご記入ください。
なお、CCライセンスが設定されている場合、以降の回答と矛盾がないようご確認願います。

■ 掲載可否　Archivability

掲載可否をご回答ください。なお、出版社版及び著者最終稿の本文ファイル掲載は、出版社版の出版（オンラインでの先行公開含む）後に限るものとします。

■ 掲載場所　Location_***

掲載可能な場合、各アーカイブ先について掲載可否をご回答ください。

□ 機関リポジトリ　IR
□ 著者ウェブサイト　Author
□ 助成機関指定先　Funder
□ 非営利電子論文アーカイブ　NonCommercial
□ その他　Others

※プレプリントサーバー（arXiv、Jxiv等）は、非営利電子論文アーカイブに含まれます。
※「その他」には、上記以外に掲載可能なアーカイブ先情報があればご回答ください。（例：「掲載場所制限なし」、「具体的なリポジトリ名」等

■ エンバーゴ　Embargo_***

「一般」に、通常のエンバーゴ期間（単位：カ月）をご回答ください。エンバーゴ無しは「0」を記入願います。
「助成研究」の項目は、「一般」でエンバーゴを設定しているもののうち、研究助成機関から即時公開を求められている研究成果に限りエンバーゴを免除する場合に選択願います。（「一般」で「0」を記入いただいている場合は、入力不要です）

□ 一般　General
□ 助成研究　Funded

■ 掲載条件　Terms_***

掲載にあたって求める条件をご回答ください。
□ 著作権表示　Copyright
□ 出典表示　By
□ 出版社ページへのリンク表示　Link
□ 備考　Notes

★ 即時OAへの対応
SCPJでは、即時OAが可能か回答項目から自動判定します。即時OA対応と判定されるのは、下記の条件いずれかに該当するジャーナルです。公的な助成を受けた研究成果は、原則として即時の公開が求められるため、いずれかの条件に当てはまるポリシーを推奨します。

① フルOAモデルである
② 出版社版についてエンバーゴ無し（助成研究限定適用を含む）で機関リポジトリ等へ掲載可能である
③ 著者最終稿についてエンバーゴ無し（助成研究限定適用を含む）で機関リポジトリ等へ掲載可能である

■ SCPJデータの適用可否　Applicability

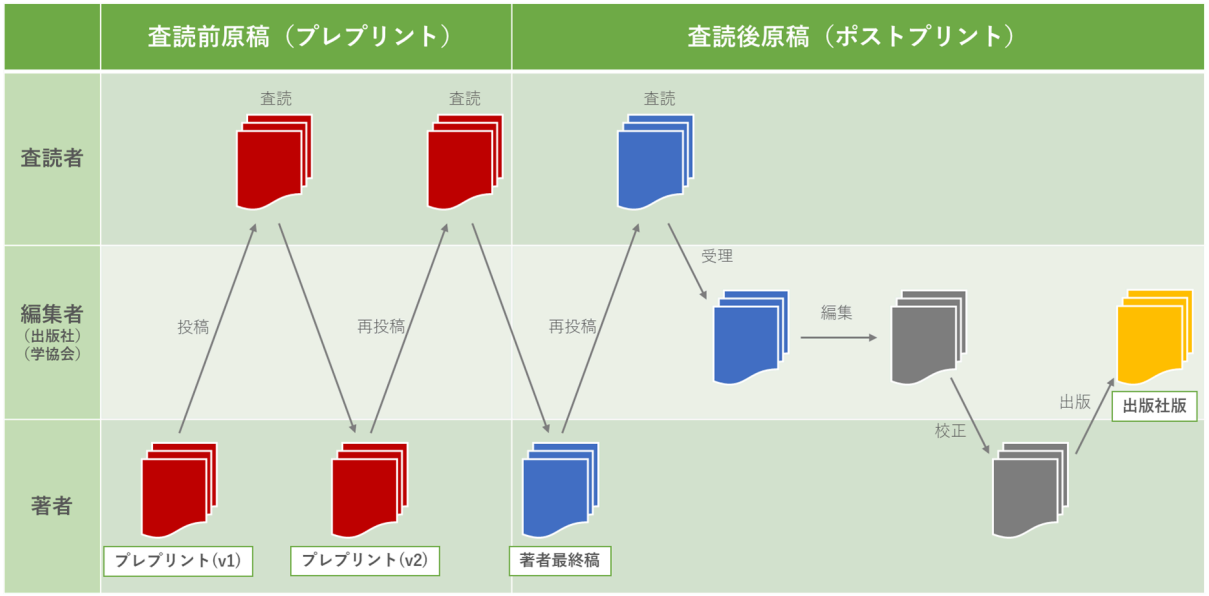
SCPJに提供したポリシーに基づいてジャーナル掲載文献を利用することを認めるかご回答ください。
「OK」とすると、SCPJに提供したポリシー情報を根拠として掲載著作物を利用することを認め、更新情報をSCPJ側に提供するまで当該ポリシーは有効となります。
「不可」とすると、SCPJに提供したポリシー情報はあくまで参考情報として取り扱われ、掲載著作物の利用は学会から示す投稿規程等の案内や学協会への確認に基づいて行うことになります。学会において、著作権規程を整備・周知する体制が整っている場合は、「ポリシーURL」に広報ページのアクセス先を入力ください。
なお、本項目を「不可」とし、学会側で詳細な著作権ポリシーを案内していない場合は、都度掲載許諾の確認が必要となり、関係者間に連絡作業が生じることになります。

用語集

■ 出版社版(Version of Record, VoR)
著者最終稿に組版等の編集が加えられ、出版社によって出版されたバージョン。
・別名: Publisher Version

■ 著者最終稿(Accepted Manuscript, AM)
査読が済んで受理された著者作成の最終バージョン。
・別名: Author Accepted Manuscript(AAM)、Accepted Version、著者最終版

■ プレプリント(Preprint)
研究者がプレプリントサーバー等で共有する査読前・査読途中のバージョン。
・別名 : Submitted Version



■ APC(Article Processing Charge)
オープン アクセス ジャーナルに出版するために著者に請求される料金。
・別名: 論文処理料金、論文掲載料

■ ライセンス情報 (Licence)
学術論文に適用される利用許諾条件。CCライセンス（Creative Commons）などが代表的で、再利用の範囲を決定する。

■ デジタル オブジェクト識別子 (Digital Object Identifier, DOI)
電子的なコンテンツを一意に識別する永続的な識別子。

■ エンバーゴ (Embargo)
論文をオープンアクセスにできるまでの期間。出版後、エンバーゴ期間が経過するまでは、当該バージョンの再利用は行えない。ゴールドOAでない論文では、6～12か月が指定されることが多い。

・別名: 禁輸期間、公開猶予期間

■ オープンアクセス (Open Access, OA)
研究論文などの学術情報を、インターネット上で無料公開すること。広く採用されているBOAI（ブダペスト・オープンアクセス・イニシアティブ）に基づく定義では、再利用可能なライセンスの付与が求められる。ライセンス不明なものを、「フリーアクセス」と称して区別されることがある。

■ DOAJ (Directory of Open Access Journals)
世界中のオープンアクセス学術誌を収録したデータベース。OA学術誌の品質保証の指標の一つとされる。

■ ISSN (International Standard Serial Number)
逐次刊行物（ジャーナルなど）に付与される国際標準番号。印刷版（PISSN）と電子版（EISSN）に分かれる。ISSN-Lは、異なる媒体のISSNを統合する番号。

■ フルOAモデル (Full Open Access Model)
すべての論文をオープンアクセスで公開するモデル。
著者側がAPC（Article Processing Charge：論文掲載公開料）を支払うゴールドOAが主流だが、研究機関、公的助成機関、出版社、学会等が資金提供することにより、著者や読者の費用負担がないダイヤモンドOAが国際的に注目され始めている。

■ ハイブリッドモデル (Hybrid Model)
購読型ジャーナルの一部論文のみをオープンアクセスにするモデル。
APCが支払われた論文のみオープンアクセスとなるケースが主流で、APCを支払わなくても出版できるメリットはあるが、研究機関は購読料を払い続ける必要があり、APCと購読料の二重取り（ダブルディッピング）の問題が指摘されている。

■ 転換契約 (Transformative Agreement)
機関が支払う購読費用を、段階的にオープンアクセス出版の費用（APC）に移行する契約。ハイブリッドジャーナルの二重課金問題を回避するとともに研究者の費用負担を軽減する方策として、国内外で広がっている。図書館や助成機関が出版社と締結するケースが多い。